

# えべつ 市議会だより

令和5年8月1日発行

## No.154

発行 江別市議会  
江別市高砂町6番地  
電話(011)381-1051  
編集 議会広報広聴委員会  
印刷 江別印刷業協同組合

### 議会防災訓練を実施しました



令和4年6月に策定した「江別市議会業務継続計画(江別市議会BCP)」の実効性を確認する目的で、初めて議会防災訓練を実施しました。強い地震が起きた想定で、災害発生時の基本的行動と連絡体制の確認を主に行いました。

## 主な内容

- ◇ 特集 新議長・新副議長にインタビュー …… 2～3
- ◇ 令和5年第2回定例会の概要 …… 4～5
- ◇ 一般質問 …… 6～11
- ◇ 特集 予算審査の概要 …… 11
- ◇ 委員会のページ …… 12

### 次期定例会の開催予定

- 第3回定例会  
9月5日～9月29日
- 各委員会  
9月6日～9月11日  
9月20日～9月25日
- 一般質問  
9月13日～15日

※日程は予定です。  
詳しくは議会事務局まで  
お問い合わせください。

[議会ホームページ](http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gikai/) <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gikai/>

ホームページでは、議案等に対する各議員の賛否の状況や会議録(本会議・各委員会)など、議会の情報が御覧になれます。

また、江別市議会フェイスブックでも、議会の最新情報を発信しておりますので、こちらもぜひ御覧ください。



江別市議会  
ホームページ

障がいのある方のための、点字とCDによる「えべつ市議会だより」もあります。

【詳細】障がい福祉課障がい福祉係 ☎(011)381-1031

# 島田新議長・内山新副議長

## にインタビュー

5月16日に新たに就任した島田泰美議長と内山祥弘副議長。

お二人に現在の心境や抱負を語っていただきました。



インタビューの様子(左から内山副議長、島田議長、岡議会広報広聴委員会委員長、干場議会広報広聴委員会副委員長)

ぐるしく過ぎた2か月だったというのが正直な感想です。

―就任に当たった抱負は？

**島田議長** 議長でも、議員でも変わらないと思うのですが、我々は選挙によって市民の負託を得て、議員になったわけですから、市民のためにやるべきことを果たしていくということに常に考えなければと思っています。

市民の皆さんの話を聞き、こちらからも話をする事ができるような、機会を見つけて皆さんの声が聞こえる場所に積極的に出向いていきたいです。

**内山副議長** まずは、議長をしつかりとサポートして、公平公正な議会運営に努めていきたいです。そして市民の皆さんにとって身近で、開かれた議会を目指したいです。

また、新しい議員も増えたので、各議員や各会派のそれぞれの良さを生かしながら進めていく調整役としての役割も担っていかなく

―就任から2か月。率直な感想は？

**島田議長** 就任直後の5月から行事がめじろ押しでした。特に、5

月30日に開催された北海道市議会議長会定期総会は、30年ぶりに江別市での開催となり、その準備のための出張もあったため、自分

が今何をやろうとしているのかさえないからなくらい行事が立て込んでいました。その後、6月に定例会があり、定例会閉会後の翌週には議員協議会もありました。

議長という立場でこのように多くの会議に関わり、改めて事務局の皆さんの大変さがよく分かるようになってきましたね。前期2年間の

副議長時代にもある程度は分かっていたのですが、議長になってさらに、周りの皆さんと一体となって取り組まなければという思いが強くなりました。

**内山副議長** 議長と同じく、大変忙しかったです。日々の日程をこなすのに精いっぱい、本当に目ま



てはと思っています。

—島田議長は議員5期目と長い  
が、以前と雰囲気は変わったか？

島田議長 20年前に初当選した  
時と雰囲気は全く違いますね。や  
はり女性議員がどんどん増えてき  
たからでしょうか。他市の議員か  
らも、なぜ女性議員が多いのかと  
聞かれますが、特に理由は思い当  
たらず、女性が立候補しやすい環  
境が自然と整ってきたからだと思  
っています。

(3) 今回新しい議員が8名入り、  
若々しい雰囲気を感ずます。自分

も良い意味で新しい環境に溶け込  
んでいきたいですね。

—副議長の仕事はどのようなも  
のがあるのか？

内山副議長 一般的には、議長が  
病気その他の事故があるとき、あ  
るいは欠けたときに議長の代わり  
を務めることとなります。また、議  
長の職務を補佐することや、議長  
とともに江別市議会を代表する  
立場で色々な会合に出席したり、  
他の市議会の行政視察のお迎えを  
することも大切な仕事ですね。

—今後の議会運営で取り組みた  
いことは？

島田議長 やはり議会改革です  
ね。特にデジタル化を進めていき  
たいです。新しく若い議員が入っ  
てきたから、なおのこと、議会が後  
れを取ってはいけませんね。

内山副議長 議会基本条例の検  
証報告書を踏まえて、市民の皆さ  
んと多様な意見を交換する場が

必要だと考えています。また、議会  
のチェック機能だけではなく、政策  
提案機能としての働きに向けた取  
組も進めていけたらと思います。

また、投票率の低下が叫ばれて  
いますので、若い世代にも市議会  
に関心を持ってもらえるよう、私  
たちからも分かりやすい発信が必  
要になってくるかもしれません。

—公務以外ではどのように過ご  
している？

島田議長 年を重ねるごとに、健  
康のことを考えるようになって、  
週5日、朝4時頃に起きて30分間  
ウォーキングをしています。スマホ  
でラジオ体操の動画を見ながら一



緒にやったり、腹筋や腕立て伏せ  
も30回ずつ。やらないと何だかす  
つきりしないんですよね。

内山副議長 写真が好きでフォト  
サークルに入って活動をしていま  
す。年に3、4回テーマを決めて風  
景写真を撮影し、公民館の写真展  
示会にも出しています。江別保健  
所敷地内の御衣黄桜ごいのうおうという緑色の  
桜などはお勧めスポットですよ。

—最後に、市民の皆さんへのメッ  
セージを

島田議長 昨年に引き続き開催  
予定の市民と議会の集いにも関心  
を向けていただき、市民の皆さん  
に気軽に来てもらえるような身近  
な市議会にしていきたいです。

内山副議長 次期総合計画の策  
定や本庁舎の建て替え計画、市立  
病院の経営健全化など、重要な政  
策の決定にも、市民の皆さんの多  
様な意見を反映できるよう市議  
会としてしっかり取り組んでいき  
たいです。

# 令和5年 第2回 定例会

第2回定例会は6月2日から6月23日まで22日間の会期で開かれました。子ども医療費助成条例の一部改正をはじめ、一般会計補正予算などの議案37件、諮問2件、意見書案6件、報告9件を議しました。

主な議案の内容についてお知らせします。

議決結果・賛否の状況については、江別市議会ホームページで公開しております。



## 条例

### ◎子ども医療費助成条例の一部改正

子育て世帯の医療費負担のさらなる軽減と子供の健康増進を図ることを目的とし、新たに小学4年生から中学3年生までの通院医療費を助成対象とするため、必要な改正を行うもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

### ◎市税条例の一部改正

地方税法等の一部改正などに伴い、個人市民税に森林環境税が導入されることから、令和6年度から均等割の枠組みを用いて、国税として一人年額千円を賦課徴収することに関する事など、必要な改正を行うもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

## 一般議案

### ◎旧岡田倉庫解体・移転復元工事請負契約の締結

千歳川の江別市街築堤整備に伴い、江別市指定文化財である旧岡田倉庫を近隣地に移転するため、一般競争入札の結果、3億8千390万円で契約を締結するもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

### ◎江別太南大通り整備工事請負契約の締結

国道37号に接続する江別太南大通りを振り替えるための道路の新設に伴う盛土工事を行うため、一般競争入札の結果、2億7千940万円で契約を締結するもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

## 人事

### ◎人権擁護委員候補者の推薦

- ◇石川奈穂江氏の推薦を可と答申
- ◇一柳紳二氏の推薦を可と答申

### ◎副市長の選任

- ◇川上誠一氏の選任に同意

### ◎教育委員会委員の任命

- ◇新館忠義氏の任命に同意

### ◎監査委員の選任

- ◇中村秀春氏の再任に同意

### ◎農業委員会委員の任命

- ◇植村登氏、荻野雅志氏、砂川秀樹氏、保倉義治氏の任命及び浅野目貴史氏、伊藤良明氏、工藤多希子氏、佐藤和人氏、佐藤昇氏、田中浩一氏、得能謙二氏、中島清文氏、中田和孝氏、西純一氏、長谷川礼子氏、保倉浩行氏、松下博樹氏、百瀬誠記氏、山口利夫氏、山田保彦氏の再任に同意

### ◎固定資産評価審査委員会委員の選任

- ◇小林敏道氏の再任に同意

## 予算

### ◎一般会計補正予算

(5)

えべつ市議会だより 令和5年8月1日発行

市政執行方針に基づく政策を予算化したほか、コロナ禍における原油価格・物価高騰対策等への措置などにより、13億7千198万5千円を増額し、予算総額は、532億6千908万6千円になるもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

◎国民健康保険特別会計補正予算  
国民健康保険税の電子納付に対応するためのシステム改修に係る経費の追加により、339万4千円を増額し、予算総額は125億2千539万4千円になるもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

# 報告

◎江別振興公社、スポーツ振興財団、フラインクテクノカえべつ  
令和4年度決算に関する書類  
市が出資している公社や財団、株式会社との令和4年度決算が報告されました。

## そのほか本定例会に提出された議案

件名	議決結果
財産の取得(大型ロータリ除雪車の購入)	原案可決(全員一致)
財産の取得(給食搬送用コンテナ洗浄機の購入)	原案可決(全員一致)
財産の取得(小型動力ポンプ付積載車の購入)	原案可決(全員一致)
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決(全員一致)
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	原案可決(全員一致)
都市計画税条例の一部改正	原案可決(全員一致)
火災予防条例の一部改正	原案可決(全員一致)
学校給食の無償化を求める意見書	原案可決(全員一致)
薬剤耐性菌感染症の蔓延を防止するための取組体制を強化することを求める意見書	原案可決(全員一致)
生物多様性の保全対策の強化を求める意見書	原案可決(全員一致)
義務教育費国庫負担制度の充実と教育関連予算の確保・拡充を求める意見書	原案可決(全員一致)
地方財政の充実・強化に関する意見書	原案可決(全員一致)
女子差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准に向けた環境整備を求める意見書	原案可決(全員一致)
専決処分(市内中学校における負傷事故に係る損害賠償額の決定)	報告済
一般会計予算繰越明許費の繰越報告	報告済
下水道事業会計予算の繰越報告	報告済



議員が市政をただす

# 一般質問

今定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。  
誌面の都合上、各議員が行った質問の中から、1人2項目を要約してお伝えいたします。

質問席

## ▼障がい福祉を向上させるための課題

**質問** 学校の新設要望、施設の充実、出生時または障がいと診断されたときからの教育体制、安全・安心な生活環境の充実についてなど、江別市独自の障がい福祉を向上させるための課題についての見解を伺う。

**答弁** 障がい福祉向上のためには、ライフステージに応じた切れ目のない支援体制の充実が重要であると認識している。

出生から学齢期は、保健・医療・福祉・教育等の関係機関が連携し、個々の子どもの状態に合わせた望ましい教育機会の提供に努めるほか、学校卒業後は、ライフステージが大きく変化することから、障がいの程度、ニーズ、家庭状況等にに応じて、必要なサービスを効果的に利用しながら、住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、サービスを提供体制の充実を図っている。

今後も関係部署や関係機関と連携しながら、引き続き、障がい福祉の向上に努めていきたい。



政和会  
芳賀 理己 議員

## ▼市立病院における診療報酬向上を踏まえた救急医療の拡充

**質問** 将来の診療報酬の向上を踏まえた救急医療の拡充に対する考え方について伺う。

**答弁** 江別市及びその周辺市町村を含む医療圏における救急医療の確保に向けて、市立病院の役割は極めて重要なものと認識している。

江別市は札幌市を含む二次医療圏に属しており、市及び市立病院では、令和5年4月から外科系に加えて休日・夜間の内科系二次救急の輪番制を導入した。

輪番制は救急搬送に要する時間を短縮し、市内の救急応需率を高めるとともに、救急に携わる医師の負担を分散し、働きやすい勤務環境に貢献することから、持続可能な救急医療体制を構築することが重要であると考えている。

この制度を安定的に運営することにより、医師の定着や診療体制の充実につなげ、将来増加するであろう救急需要に対応できる体制を構築したい。

## ▼JR江別駅周辺のまちづくり

**質問** JR江別駅南側周辺の安全・防犯対策について伺う。

**答弁** 江別駅南側の停車帯や自転車駐輪場については、JR利用者の利便性向上と、不足する駐輪台数への対応を目的として整備したものである。

停車帯の幅員については、道路と鉄路に挟まれているなどの敷地制約がある中での施設配置であり、停車帯の拡張を行う際は、自転車駐輪場や歩道への影響があることから、利用者に対する安全性や利便性を考慮する必要があると認識している。

停車帯や照明などの安全・防犯対策については、今後、自治会などの地元の意見を伺いながら、適切な方策について検討していきたいと考える。

今後も、安全で快適な道路環境を保ち、引き続き市民の皆様が安心して通行できる道路環境づくりを努めていきたい。

## ▼高齢者等の買物支援

**質問** 移動販売に対する支援について、民生委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会等との連携でどのようにしてニーズを把握していくのか。

**答弁** 民生委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会等は、高齢者などからの日常生活における困りごと等の相談窓口となっている。

まずは、買物弱者が増加していくとの認識を、これらの関係機関等と共有し、相談者がどのようなサービスを望んでいるのか、各機関で聞き取っていただいた上で、それらの情報を集約していきたい。

## ▼協働によるまちづくりの基本姿勢

**質問** 様々な立場の市民意見・要望等をくみ上げる場の設置が必要と考えるが、市長の市民との直接対話についての考えを伺う。

**答弁** まちづくりへの市民参加を推進するため、市民参加条例では、重要な意思決定をする際には、附属機関等の設置やパブリックコメント、市民説明会など、適切な方法により市民から意見を求めている。

市政執行方針の中で協働によるまちづくりを基本姿勢の一つとして掲げているが、市民とともにまちづくりを行っていくためには、職員も市民であることから、市民と行政が同じ目線に立って、地域の課題を共有し、市民ニーズを的確に把握していく必要がある。

今後は、まちづくりの主役である市民との対話や懇談の場を増やし、市民の声、現場の声を聞くとともに、市の考えをしっかりと伝えていきたい。

## ▼市民意見を聴取する具体的な取組

**質問** 市民との懇談の機会を設けるための市民からの連絡方法と開始時期について伺う。

**答弁** 懇談については、サークルや市民活動団体、あるいは高齢者クラブや自治会等の地域の小さな集まりなどから要請を受け、互いに顔の見えるような人数で、まちづくりや江別の未来について気軽に語り合えるような場を想定している。

今後、そのような市民の皆様から積極的に連絡いただき、日程や時間などを調整した上で懇談の機会を設けていけるよう取り組んでいきたいと考えているが、既に要請を受けている団体もあり、現在、懇談の実施に向けて日程調整をしている。

なお、市民からの連絡方法については、広報やホームページなどでお知らせしていきたい。



公明党

石川 麻美 議員



民主・市民の会

佐々木 聖子 議員



日本共産党議員団  
高橋 典子 議員

### ▼東西インターチェンジ周辺の土地利用促進と自然環境の保護

**質問** 地盤の問題や湿地の保護、緑地保全等の課題と開発について、整合性を持ちながら対応していく視点を持っているか伺う。

**答弁** 東西インターチェンジ周辺については、江別市都市計画マスタープランにおいて、交通環境などの優位性を生かした産業振興や、まちの魅力の向上につながる戦略的な土地利用を進めるものとしており、土地利用の検討の際は、周辺の農村地区への環境配慮や調和などを踏まえるものとしている。

また、江別市緑の基本計画においても、江別東インターチェンジに近接する湖沼は緑の拠点として位置づけていることから、土地利用を検討するに当たっては、自然環境保全の観点からも十分配慮していく必要があると認識している。

### ▼大麻駅跨線人道橋の改築

**質問** 改築は住民の日々の暮らしに関わる重要な問題であると市もJR北海道も実感を持って理解しているか。

**答弁** 当該人道橋は、大麻駅に近接し、大麻地区と文京台地区を結び、一日約二千人が利用する地域の方々の生活に密接する道路施設であり、これまでも、老朽化した施設の改善について、地域から要望を受けている施設である。

階段の上り下りや冬期の路面の凍結による苦勞など、利用者の実情について、市民の声を伺っており、老朽化を解消し、エレベーターを設置する改築事業は地域の方々にとって重要であると認識している。

また、JR北海道においても、施設の老朽化に伴う改築事業の重要性は認識されていることから、引き続き、事業の実現に向けて、JR北海道と協議を進めてまいりたい。

このほか、飼い主のいない猫への対応について質問がありました。



えべつ地域創生の会  
岡 英彦 議員

### ▼市長の選挙公約

**質問** 4年間の任期で、具体的にこれをやるという公約は何だと認識しているか。

**答弁** 短期的には、市民の皆様との懇談の場の設置のほか、水害対策の拡充に向け、集中豪雨などによる道路の冠水箇所を示したマップの作製に必要な調査や、スマート農業や除排雪等に対応するためのGPSなどデジタル技術の活用に向けた事業手法の検討を開始したい。

さらに、中・長期的には、本庁舎の耐震化を実施するとともに、東西インターチェンジ周辺への企業誘致を見据えた土地利用と旧江別小学校跡地を含むJR江別駅周辺の活性化について、具体的な道筋をつけたい。

今後、市議会議員の皆様、市民や関係団体の皆様、市職員などと、あらゆる機会を捉えて意見交換を行いなから、一つひとつ着実に、まちづくりの課題に対応していきたい。

### ▼市政運営の基本理念

**質問** 市政運営に当たった基本理念や市長が大切に考える価値観を伺う。

**答弁** まず第一に市民の命と財産を守ること、そして、市民が幸せであることである。命と財産が安全な状態にあり、安心して日々の暮らしを営むことができなければ、市民の皆様は幸せを感じてもらうことはできない。幸せを感じている人は、笑顔を見せてくれる。幸せを感じていただくためには、市民と行政が同じ目線に立ち、互いに問題意識を共有することが不可欠である。

市政のかじ取りを行う上では、限られた財源の中で、様々な課題に優先順位をつけて、対応しなければならぬという現実があるが、だからこそ、市民の声、現場の声をしっかりと聞き、市としての考えをしっかりと伝える双方方向のコミュニケーションの機会は、ますます重要になると認識している。



### ▼行財政運営

**質問** 事務事業評価等により、成果や費用対効果の向上の余地がないと判断した場合には事業の廃止や休止も含めて見直すとのことだが、事業の見直しを目的とした第三者的な外部委員会を設置すべきでは。

**答弁** 市では、これまででも事務事業評価や行政外部評価を基に施策の成果や費用対効果を検証しており、予算は、事業の見直しや統廃合などを検討しながら編成している。

次期総合計画の推進に向けては、国の動向を注視し、新たな補助制度等を積極的に利用するほか、未利用地の活用による企業誘致やふるさと納税の拡充など財源確保に向けた取組を一層進めていきたい。

また、学識経験者や公募市民等で構成される行政改革推進委員会での行政外部評価において、事業の改善等に係る様々な提言をいただいております。内部評価の質の向上や事業の効果的な見直しにつながるよう、行政外部評価の適切な実施に一層努めていきたい。

### ▼子どもの権利条例

**質問** 子どもの権利条例を制定することについての見解を伺う。

**答弁** 子どもの権利条約に基づき、令和5年4月に子ども基本法が施行され、子どもの権利を保障することや子どもの意見を政策に反映するために必要な措置を講ずること等が定められ、同時に、子ども施策の展開方針である子ども大綱の策定が進められている。

そのような中、市では、児童虐待やいじめなど、子どもの権利の保障に対応するための相談員を配置するなど、子どもの権利を守るための施策の充実に努めている。

まずは、子ども基本法に基づき、子どもの権利を守るための施策の充実に努めることが必要であると考

えており、子どもの権利条例の制定の必要性については、子ども・子育て会議において、国の取組など、必要な情報を提供しながら、意見を聴き、判断していきたい。

このほか、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律について、HPVワクチンについての質問がありました。

### ▼子育て支援

**質問** 子どもの放課後における居場所の在り方についての見解を伺う。

**答弁** 現在、主に小学生を対象とした施設は、保護者の就労状況に関わらず、全ての子どもが利用できる児童センターと、就労家庭の子どもの生活の場である放課後児童クラブがある。

放課後児童クラブは、子どもが安全で快適に生活できるよう、職員配置や利用定員を定めており、家庭に近い環境で、子どもがくつろいで生活できるなどのメリットがある一方で、利用定員を超えて申込みがあった場合は、保護者の勤務時間や日数により、待機となることもある。

市では、女性の柔軟な働き方に対応した子育て支援サービスを拡充することは重要と考えていることから、今後も放課後児童クラブの施設整備を進めるとともに、これからの子どもの居場所の在り方について、他市の状況も参考にしながら、調査研究してまいります。

### ▼全ての子どもたちに学びの機会を確保するための取組

**質問** 子どもたちへの学びの確保について、学校内外の支援をどのように取り組む必要があると考えているか。

**答弁** 学習指導要領では、個に応じた指導の充実が定められており、市教委では、一人一人の状況に応じた学びの機会を確保する取組を進めてきている。

学校内では、一斉学習において配慮が必要な児童生徒を支援するため、学習サポート教員や特別支援教育支援員を配置しているほか、不登校児童生徒に対応するため、校内支援室を設置する取組を進めている。

また、学校外では、ICTを活用した健康観察や授業配信、スクールソーシャルワーカーの活用、適応指導教室(すぼっとケア)の実施などの取組を進めている。

全ての子どもたちに学びの機会を確保することが重要であることから、一人一人の状況に応じた支援に注力してまいります。



民主・市民の会

干場 芳子 議員



えべつ地域創生の会

猪股 美香 議員



政和会  
野村 和宏 議員

▼東西インターチェンジ周辺  
以外の企業誘致

**質問** 東西インターチェンジ周辺以外の企業立地のための用地確保について考えを伺う。

**答弁** 企業が新たな拠点を立地する際には、事業内容に基づき最適な用地を選定し、確保することが第一歩となることから、企業のニーズに合った用地を紹介できるように、江別工業団地協同組合や江別不動産業協会と適宜情報交換を行うなど、物件情報を収集し、市内へ立地を検討する企業に対して情報提供している。

今後とも企業誘致においては、民有地を含めた未利用地の活用などを進めることで、より多くの企業の立地につなげていきたい。

▼太陽光パネルの廃棄処理

**質問** 太陽光パネルが設置されている家屋で、既に空き家となっているもの、所有者が解体撤去処分の費用負担ができないもの、災害などで破損し放置されたものがあつた場合の対応についてどう考えるか。

**答弁** 太陽光パネルが設置されている空き家等への対応については、管理責任は所有者にあることから、空き家対策等の関係部局と連携しながら、所有者等に対して、適正管理や適正処分を求めることになる。また、災害により破損・廃棄される太陽光パネルについては、江別市災害廃棄物処理計画に基づき、市で処理を行うことになる。

太陽光パネル等の設置された家屋が危険な状態で放置されることのないよう、関係部局連携の下、対応していきたい。

このほか、生活道路の改修について質問がありました。



公明党  
三吉 芳枝 議員

▼自転車利用者の安全対策

**質問** 自転車用ヘルメットの購入に補助を行うことについて、考えを伺う。

**答弁** 市では、自転車を利用する全ての方に対し、ヘルメットを着用することが交通事故の被害軽減につながることを認識してもらい、常にヘルメットを着用する意識の醸成が重要であると考えている。

今後においても、広報えべつやホームページにて周知啓発を行うほか、交通安全教室や安全安心講座、交通安全運動など様々な機会を通じて、全ての自転車の利用者に対しヘルメットの着用を呼びかけ、着用が習慣となるよう取り組んでいきたい。

ヘルメットの購入補助については、補助を実施している市町村の取組状況や購入後のヘルメット着用状況などを調査研究していきたい。

▼地域コミュニティの弱体化に対する認識と支援の必要性

**質問** 行政協力業務の見直し等も含めた自治会の負担軽減に向けての具体的な取り組みについて、市としての考えを伺う。

**答弁** 防災訓練やごみステーションの維持管理などの活動については、自治会が設立された当初から長い年月をかけて取り組まれ、地域住民が必要性を認識する中で行われてきた経緯があるものと考えている。

一方で、令和3年度に実施した自治会アンケート調査の結果では、自治会回覧の負担感など、課題も明らかになってきたことから、自治会回覧の配付回数や時期の改善について取り組んできた。

市では、自治会の負担軽減などの課題解決は重要と考えており、行政協力業務といわれる業務について、今後どのような見直しが可能か、江別市自治会連絡協議会と相談していきたい。

### ▼高齢者相談窓口の体制強化と普及啓発

**質問** 高齢者がどのようなことでも相談できる総合相談窓口の整備や強化の必要性についての考えを伺う。

**答弁** 市では、地域包括支援センターを高齢者の総合相談窓口と位置づけており、その認知度を向上させるべく、周知に努めている。

効果的な普及啓発や地域の相談窓口である民生委員の活動などにより、支援を必要としている方の早期発見・早期相談に結びつくケースが増えているものと考えている。

今後も地域包括支援センターの役割について広く周知を図るとともに、引き続き、民生委員などとも連携しながら、高齢者やその家族などからの相談に応じていきたい。

### ▼デマンド型交通の拡大

**質問** 公共交通を持続可能なものにしていくためには、地域の状況や市民の意向などを把握することが重要であり、よりの確にニーズを把握していくことへの考えを伺う。

**答弁** デマンド型交通とは、定時定路線とは異なり、必要がある場合にのみ、需要に応じて運行する仕組みであり、主に、路線バスの導入や維持が困難な地域において、その代替・補完手段となる運行方式である。

市では、地域の状況や市民の意向などを把握するため、毎年行っているまちづくり市民アンケートの中で、公共交通についての項目を設けているほか、次期地域公共交通計画の策定に向け、昨年、公共交通の利用に関して、市民やバス利用者、さらに公共交通事業者、関係団体へのアンケート調査を行っている。今後も、こうしたアンケート調査などを活用し、地域や市民ニーズの把握に努めていきたい。

このほか、グリーンボールについて質問がありました。



公明党

長田 旭輝 議員

### 予算審査の概要

一般会計補正予算ほか関連議案は、予算決算常任委員会に付託され、審査が行われ、本会議では、全員一致で、いずれも原案のとおり可決されました。

### 主な質疑

**質疑** えべつみらいビルの事業期間終了後における事業手法等の検討内容は。

**答弁** 令和9年11月の事業期間終了後を見据え、えべつみらいビルそのものだけでなく、その周辺を含めた地域が持つ可能性や雇用環境を踏まえた経済効果の分析、開発事業者からの意見聴取などについて、専門的な見地を用いて様々な角度から調査検討していきたい。

**質疑** 適応指導教室すぽっとケアの拡充により期待される効果は。

**答弁** 現在会場にしている青年センターと情報図書館は、一般利用者との兼ね合いから活動時間が限られているが、専用の会場を設けることにより、活動時間を午後3時までには

大することができることから、学習時間に加えて読書や軽運動といった活動の時間も十分に確保することができると、児童生徒一人一人への支援に併せて保護者の支援も充実させることができる。

**質疑** 地デジ広報サービスの導入の目的とサービス内容は。

**答弁** 令和4年度から運用を開始している江別市LINE公式アカウントを利用していない方などへの新たな情報発信手段として、今年7月から開始するもので、テレビ画面に最大5件までの情報が表示され、ホームページに掲載されるトピックスや新着更新情報のほか、災害情報などを可能な限りリアルタイムに配信する予定である。



地デジ広報サービスのテレビ画面



## ▶ 議会運営委員会

改選後における委員会において、前任期からの申し送り事項の確認を行いました。

議会基本条例の研修及び議会業務継続計画(BCP)に基づく議会防災訓練について協議を行い、議員協議会の開催に合わせて実施することを確認しました。

また、江別市議会ICT化推進基本計画の推進については、タブレット端末の導入に向け、検討を行っていくこととなりました。

今後、議会運営に関する検討課題について各会派から出された意見を基に、よりよい議会運営に向けて委員会内での協議を行ってまいります。

## ▶ 総務文教常任委員会

教育部から、GIGAスクール構想推進事業の進捗状況のほか、今年度で友好都市提携45周年を迎える高知県土佐市との記念事業として、土佐市からの訪問団受入れや江別市からの訪問団派遣の予定についての報告を受けました。

また、教育部及び総務部から、旧町村農場保存活用推進事業として、新たな多目的スペースの整備などの改修概要や、管理運営体制の検討事項について報告を受けましたが、複数の委員から関連する条例改正と指定管理者の更新スケジュールについて見直しを求める提言があったことから、スケジュールの変更について、改めて報告がありました。

## ▶ 生活福祉常任委員会

当委員会における付託案件の審査として、急速充電設備の全出力の上限を設けないことと

する規定の改正及び喫煙等に関する標識等の設置基準見直しに係る「江別市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について」と、生活に困窮する外国人に対する医療扶助のオンライン資格確認が令和6年3月から実施される予定であることに伴う「江別市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について」の2件について、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

## ▶ 経済建設常任委員会

水道部からは、上下水道の工事契約状況と上江別東町ほかでの大規模工事の概要について報告を受けました。

経済部からは、中小企業等経営強化法に基づく固定資産税特例について報告を受けたほか、旧岡田倉庫解体・移転復元工事請負契約の締結等について説明を受け、質疑を行いました。

建設部からは、工事契約状況、第2次江別市空家等対策計画の策定等について報告を受けたほか、大型ロータリ除雪車の取得等について説明を受けました。そのほか、農作物生育状況調査及び所管施設の現地調査の実施予定について協議を行いました。

## ▶ 議会広報広聴委員会

改選を経て新たなメンバーとなった委員会では、議会広報広聴委員会の役割及び今後の進め方について、改選前の委員会からの申し送り事項について確認を行いました。また、傍聴者アンケートの集計結果、議会フェイスブックの運用状況、令和4年度政務活動費のホームページでの公表及び令和4年度視察受け入れ実績のホームページ掲載について報告を受けました。

現在、市民と議会の集いの開催に向けた協議を進めており、今年度については11月に3つの会場で実施することが決定しました。詳細については、決まり次第議会だよりやホームページ等でお知らせします。